

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 教員採用試験一次選考を29人が突破！

○令和6年度教員採用試験（令和7年度採用）一次選考合格者数速報！

今年度の教員採用試験は、外国語学部日本語学科及び英米語学科の4年生35人と卒業生2人が受験し、一次・二次の区別のない自治体受験者2人を除き、29人が一次試験に合格しました。都県別の一次選考合格者数は下表のとおりです。

また、3年生対象の前倒し選考に3年生19人がチャレンジし、千葉県で2人、東京都で8人が通過者となりました。この10人は来年度の選考で教職教養と専門教科の筆記試験が免除されます。

受験先	校種・教科等	受験者数	現役生 合格者数	卒業生 合格者数	合格者数計
千葉県	中高・国語	1	0	-	0
	中高・英語	8	8	-	8
東京都	中高・国語	7	3	1	4
	中高・英語	15	14	1	15
福島県	中高・英語	1	0	-	0
新潟県	中高・英語	1	1	-	1
石川県	中高・国語	1	9/27 最終発表	-	9/27 最終発表
	中高・英語	1	9/27 最終発表	-	9/27 最終発表
静岡県	中・英語	1	1	-	1
大分県	中高・英語	1	0	-	0
合計		37	27	2	29



英語模擬授業対策講座



英語実技面接練習



個人面接練習

○二次選考対策にも全力投球！

METTSでは7月23日から8月22日までの1か月間にわたり、延べ129時間の二次選考対策講座を行いました。自治体の選考内容に応じて、個人面接や模擬授業、英語実技試験等の講座を展開しました。対策講座では、METTS教員に加えて剣持勉客員教授が面接の指導で豊富な経験に基づいた助言をしてくださいました。また、明海多言語コミュニケーションセンターのPatrizia Hayashi教授とTyson Rode准教授が英語模擬授業や英語実技面接に向けたきめ細かい指導をしてくださいました。

教員採用試験合格を目指す学生たちは、今年3月の勉強合宿に始まり、教職教養・一般教養ビデオ講座や英語対策講座、論文講座、集団面接・集団討議練習等の一次選考対策を経て、二次選考でも万全の準備で臨みました。本当にお疲れ様でした！

〈二次選考後の学生の感想から〉

- METTSの練習に参加したことで、質問に対する不安を抱えることなく本番に臨むことができた。
- 事前の面接対策をしっかりとこなして怖いものなし。100点満点の出来栄だった。
- 毎日の練習に参加し、自信をつけることができた。今までの練習の成果を出し切れたと思う。
- 英語のスピーチもディスカッションも練習した通りに力を発揮することができたと思う。
- 英語のディスカッションでは、練習通りの質問と、初めての質問があったが、練習のおかげで躓くことなく答えることができた。

教職1日体験講座に高校生が参加！

8月21日（水）、教育連携協定を締結している都立竹台高等学校から、教職に興味関心がある生徒3人が明海大学を訪れ、METTS主催の「教職1日体験講座」を受講しました。講座では、教職課程についての理解を深めるとともに、授業体験として生徒指導に関する演習や英語コミュニケーション活動に取り組みました。また、与えられた国語、英語、ホームルームの教材・資料を活用して約5分のミニ授業のプランを考え、緊張しながらもそれぞれの持ち味を活かした授業を実演しました。講座の途中からは英米語学科の安田結貴さんと渡辺渚稀さんがボランティアとして参加し、キャンパスツアーや学食体験、質疑応答等でサポートしてくれました。高校生からは「ミニ授業は自分にできるか不安だったけれど、チャレンジしてできてよかった」「先生や学生の方たちから色々な意見や感想をきくことができ、今日の体験は今後に生かすことができる」などの感想が聞かれました。



浦安市との連携「未来塾」での教育ボランティア

今年度も浦安市との連携による青少年自立支援「未来塾」で教職課程履修学生6人が、学習支援ボランティアの一員として活動しています。

未来塾では、市内9つの中学校の生徒が6か所の公民館に週1回通い、午後6時30分から8時まで、英語と数学を学んでいます。ボランティア学生は、中学3年生には高校入試対策の助言をするなど生徒一人一人のニーズに応じた学習支援を行い、自主的な学習習慣の定着を促すとともに、出席管理や教室整備など、運営全体に携わっています。



<参加学生の声>

- 中学生たちにどのように分かりやすく伝えるかなどを考えながら、実際の教育現場同様の体験ができ、勉強になることが沢山ある上、やりがいを感じる場面も多く、教師を目指して頑張ろうという気持ちになれました。
- このボランティアを通して英語を教える難しさや自分の勉強不足を実感すると同時に、新たな発見や学びが多く、この経験をこれからの学校現場で活かしていきたいです。



連携高校における日本語指導支援

明海大学と教育連携協定を締結する都立南葛飾高等学校と都立飛鳥高等学校定時制課程において、今年度も日本語学科の学生たちが、外国にルーツがあるなど日本語が苦手な高校生を対象に、日本語指導支援のボランティアを行っています。都立飛鳥高等学校定時制課程では、13人の生徒対象に、日本語の教科書を使いながら学習指導支援を行っています。



<参加学生の声>

飛鳥高校定時制での授業は非常に貴重な経験で、授業の一連の流れを実際に体験できることはとても有意義だと感じています。授業では単に教えるだけでなく、教室の秩序を保つことも非常に重要であると実感しました。授業を通じてタスクシートの利点を実感し、復習の重要性もあらためて理解できました。今後も努力していきたいと思えます。（日本語学科3年 呉トウドンさん）

アゴラ活用状況(人)	
7・8月合計	643
2018年度からのべ数	66,756